

JA全農 **WEEKLY**

4
—
5
面

インタビュー 元京都大学准教授 中野剛志さん

協同組合が活きる時代へ

(広報・調査部)

2-3面

全国各地で田植え体験
(各県本部)



手植えを体験する子どもたち＝秋田県で(2-3面)



体についた脂肪を減らす
「エコープ緑茶p-r-us」(8面)



インタビューで「協同組合が活きる時代」と語る中野さん(4-5面)

- 6 JAズームイン(JA信州諏訪)
 - 7 青果情勢(園芸部)
 - 8 「体についた脂肪を減らす」緑茶を発売
(くらし支援事業部)
- JAタウンショップ紹介
フルーツ王国やまなし
(JA全農やまなし)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

田んぼに響き渡る歓声



各県本部が田植え体験

各県本部は消費者や提携する企業の社員などを招き、田植え体験を繰り広げました。手植えは初めての人も多く、田んぼには歓声が響き渡りました。秋には稲刈りも予定しています。

親子が「元気わくわくキッズプロジェクト」第1弾で田植え

秋田県本部は5月26日、サッカーJ3リーグのブラウブリッツ秋田との共同企画「元気わくわくキッズプロジェクト」第1弾を開催し、県内の小学生26人と保護者20人が、田植え体験をしました。

当日は、青空の広がる絶好の田植え日和。最初の一步を踏み出すまで時間のかかる子どもたちでしたが、すぐに慣れ、元気いっぱい楽しみながら手植えをしました。第2弾の稲刈り体験は9月下旬を予定しています。



田んぼの泥に足を取られながらも小学生らが元気に田植え

秋田県本部

「京急あきたフェア2019」キックオフイベントで田植え

今秋開催される「京急あきたフェア2019」(「あきたecoらいす」応援プロジェクト)のキックオフイベントの田植えが5月31日、大仙市で行われ、京急グループ社員や秋田県立大曲農業高校の生徒、JA関係者など約60人が参加しました。秋には、稲刈りも行い、収穫したお米は京急百貨店や京急ストアなどで販売・PRを行う予定です。



「京急あきたフェア2019」キックオフイベントで田植えをする参加者

千葉県本部

ヨークマート社員が田植え体験研修

JA安房の生産者圃場で5月16日、首都圏に80店舗のスーパーマーケットを展開する株式会社ヨークマートの新入社員を迎え、田植え体験研修を開きました。

この研修は社員が産地に赴き、生産現場の苦労を体感したり、生産者の“生の声”を聞き販売活動に生かすため開催しました。

当日は天候に恵まれ、関係者一同が力を合わせ、約15畝の田んぼに「コシヒカリ」の苗を全て手植えしました。



一斉に田植えを始めるヨークマートの新入社員

山形県本部

(株)全農ライフサポート山形が「受験合格米」のお田植え式

山形県本部の関連会社、株式会社全農ライフサポート山形は5月30日、高島町で受験生向けの縁起物「受験合格米」のお田植え式を開きました。

日本三大文殊の一つである亀岡文殊大聖寺の青山東祐副住職から祈禱を受け、白装束やみこ姿の関係者が、ブランド米「つや姫」の苗を一つ一つ丁寧に手で植えました。

「つや姫」は秋に収穫後、再び「受験合格」の祈禱を受け、11月からの受験シーズンに販売します。



白装束とみこ姿の関係者が「受験合格米」の折りを込めて行ったお田植え

シノブフーズ(株)と 田植え交流会

岐阜県本部

恵那ひかり(恵那コシヒカリ) お米づくり体験交流会

岐阜県本部は5月29日、おにぎりや弁当を製造する食品加工会社シノブフーズ(株)との田植え交流会を昨年に引き続き開き、約30人が参加しました。

交流会は、同社と締結しているJAめぐみの産「あきさかり」を原料米とする複数年契約を受けて、産地と実需者とのさらなる交流により、相互理解と強固な関係性の構築を目的として開催しています。



指定農場でシノブフーズ(株)と田植え交流会

岐阜県本部は5月18日、恵那市内で生活協同組合コープぎふ(コープぎふ)の組合員ご家族22人を招いて「恵那ひかり(恵那コシヒカリ)お米づくり体験交流会」を開きました。

当日は、コープぎふ組合員の家族に加え、コープぎふ関係者、JAひがしみの新入職員も参加し、田植え作業を楽しみました。昼食には「恵那ひかり」を使った地元産のおいしいおにぎりを食べ、お米づくりへの理解を深めました。



生協組合員らと恵那ひかりお米づくり体験交流

田んぼを真っ赤に染める! カープ女子が田植え

広島県本部

ユネスコ世界無形文化遺産と ともに「花田植え」体験

広島県本部・地元JA・量販店の共同企画により4月下旬、プロ野球球団「広島東洋カープ」のファン「カープ女子」36人が田植え体験を行いました。この企画は、幅広い世代の女性に農業を身近に感じてもらうことを目的とし、今年で5年目です。9月には同様に稲刈り体験を行い、参加者自らがカープ球団を訪問し収穫した「カープ応援米」を贈呈する予定です。



贈呈するお米を田植えする「カープ女子」



早乙女と一緒に田植えを体験する親子

広島県北広島町で5月下旬、地元JAと量販店、広島県本部が共同で取り組む田植え企画が開かれました。8年目を迎えたこの企画では、2011年にユネスコ世界無形文化遺産に登録された「^{みづ}壬生の花田植え」を消費者親子9組35人が体験。参加者は、早乙女に植え方を教わり、「壬生の花田植え」さながらに長い歴史と伝統のある田植え体験をしました。

徳島県本部

生協の親子が特別栽培米 「乙姫米」の里で田植え

徳島県美波町のJAかいふ管内で4月20日、とくしま生協とJAかいふ、徳島県本部などが共同で取り組む、乙姫米(特別栽培米)の里田植え交流会が開かれました。参加した生協の親子など56人は、県農業支援センター職員の指導を受け田植えを体験しました。



生協の親子らが田植え

田植えは水田に参加者が一列に並び、軟らかい泥の感触を肌で感じながら、歓声を上げ、親子で楽しく「乙姫米」の苗を植えました。

富山県本部

関西のスーパーと 田植え体験ツアー

富山県本部は5月18日、関西圏でスーパーを展開するイズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシスとJAあおば管内で田植え体験ツアーを行い、抽選で選ばれた親子16組が参加しました。



杵ころがして付けた印に沿って苗を植える参加者

参加者は田植え機の乗車を体験した後、JA職員から指導を受けながら「杵ころがし」で付けた印に沿って、順番に苗を植えていきました。

参加者は足を取られそうになりながらも、「楽しかった」と笑顔を見せていました。

緊急連載 反グローバリズム・反新自由主義の潮流②

インタビュー 元京都大学准教授 中野剛志さん

「協同組合が活きる時代へ」

市場原理に任せることを旨とし、国内外の政策決定に大きな影響を与えてきた新自由主義。その流れに敢然と立ち向かう論者の一人、元京都大学准教授の中野剛志さんに、新自由主義の問題点、あるべき政策の姿、協同組合との関係などについてうかがいました。

【広報・調査部】

大きな世界的流れでいうと戦後、農協や労働組合、組合というものが重視される時代があったと思います。

世界恐慌で、市場の自由に任せておく人間生活がズタズタになる、というようなことが明らかにになりました。

戦後は、国が福祉国家的なことをやる、市場に何でも任せる、とこんでもないことになるから、組合という互助組織が、農協であれば農地や自然や農民を守り、

労働組合は労働者を守るということになりました。それが一時期力を持ちました。

バブルの崩壊後

新自由主義が台頭

1970年代にインフレがあり、80年代ぐらいから、やはり市場原理に任せた方がいいのだという新自由主義の考え方が広まりました。オイルショックで価格が上がって止まらなくなったのを、ある意味、市場原理に

任せないからだというふうにする替え、それが非常に力を持ってきました。もっと規制緩和、もっと自由化というのが80年代以降の流れです。

90年代になると、日本はバブルが崩壊して経済の調子が悪くなったので、市場原理に任せればいいのだというような新自由主義が一世を風靡ふうびしました。それを20年ぐらい続けて、市場原理主義、新自由主義の迷惑通り、賃金が上がらなくてデフレが続いています。

かつて世界恐慌で市場に任せとはいけないということが分かったように、市場にもう一回任せてみたら、案の定リーマンショックが起きてしまいました。

強い国家権力を求める 新自由主義者

新自由主義は、口では国家は手を出すな、グローバリゼーションは国家を超えていく、政府は小さい方がいいと言っているのですが、実は新自由主義者ほど強い国家を求めているイデオロギーはありません。新自由主義は個人が最大限自由でいた方がいいと考える。そうすると、協同組合が個人を守るために互助組織を作ったり、労働組合が労働者を守ろうとしたらすると、労働者を市場で自由に取引できなくなるので、邪魔なのです。邪魔だけれども、労組も農協も自発的な組織なので手が出せない。



プロフィール

なかの・たけし 1971年、神奈川県生まれ。東京大学教養学部(国際関係論)卒業後、通商産業省(現経済産業省)に入省。2000年から英国エディンバラ大学大学院に留学。政治思想を専攻し、05年に博士号を取得。12年まで京都大学大学院工学研究科准教授。著書に、『日本思想史新論』、『目からウロコが落ちる 奇跡の経済教室【基礎知識編】』など。

では、どうやって破壊するか、国家権力しかないのですよ。従って、新自由主義者は必ず強い国家権力と結び付きます。

グローバリゼーションだって同じです。グローバリゼーションを進めるためには、覇権国家の権力が必要です。グローバリゼーションが冷戦後進んだのは、アメリカ一極支配になったからです。でも今、アメリカ一極支配が崩れ始めています。アメリカの力が落ちるということはグローバリゼーションも終わります。

組合組織を守るため 一定の規制が必要

では、適正な国家というのは

どういふものかというところ、自発的に手を取り合う組合や中間組織から構成される国家です。つまり、何でもかんでも国が口を出すのではなくて、むしろ協同組合の中で自治的に決めていくものは決めさせる。自治というのは民主主義の基礎で、そういった方向に変えていかなければならないだろうなと思いますね。

組合の自発的な意思は重要だし、自治も重要なだけども、今の経済、グローバルゼーションとかそういう時代には、それだけでは、その組合の自発的な組織は守れない。横やりが入っ

たり、グローバルゼーションの圧力が強くなりすぎないように、やはりシールドが必要で、国家はシールドとして必要です。組合組織の互助や自治が可能となるような一定の国家規制、というのはいらないと思います。

国家権力は強い国家権力である必要があるが、その強い国家権力は、グローバルゼーションとか海外の巨大資本の圧力から、わが国の共助組織、互助組織、自治組織を守るのに用いられる。自分たちで自発的に自分たちを守ろうとする動き、これこそ自民主政治なのです。

日本人は受け身がちな業種を超え連携し戦うべき

農協に限らず、日本人一般と言っているかもしれませんが、グローバルゼーションとか、時代の流れとか、そういったものを前提として、どう対応するかという受け身の姿勢でやりがちです。

それでは相手はもっと調子に乗ってきます。ありていに言えば、なめられているわけです。受け入れる瞬間は、物分かりが良い、大人の知恵と見えますが、つけこまれるだけです。

性善説に立ってやっていく時代はそれでも良かったのですが、グローバルゼーションになるとそれは通用しません。もっと戦闘的になるべきなのかもしれません。そうやってほしいとは思いますが、そうならざるをえない。

ちゃんと戦っていくためには、農協だけでは力が弱いので、郵政でも銀行でも電力でも、「既得権益で守られている」という同じロジックで攻撃されるわけなの

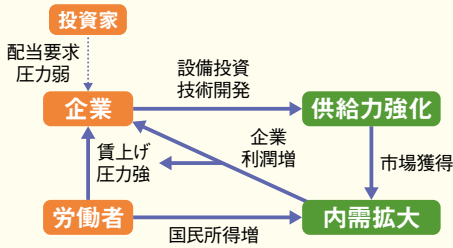
で、業種を問わず、手を取り合っ

協同組合の理念 後進に伝え強化を

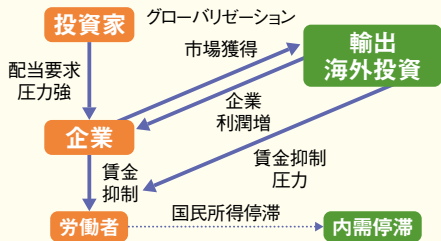
グローバルゼーションが行き詰まってきた世界です。そうすると、いよいよこれから組合組織というのが大事になります。長いことバッシングを受けたのも、もしかしたら自分たちはも

ういらない組織になるのではないかとこのふうな思いに囚われる方もおられるかもしれませんが、時代はもう変わりました。それでも（農業・農協を）たいしている日本が遅れているだけで、早晩この人々には限界が来ます。時代は大きく変わっていますので、むしろ、逆に重責になると思いますけども、ぜひ胸を張って、後進のために組合の理念とか、そういったものというのを伝え、強化していただければなと切に願います。

① アメ(賃金主導)型成長戦略



② ムチ(企業利潤主導)型成長戦略

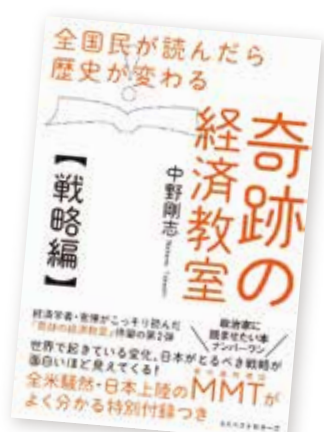


戦後の復興から高度成長期までの日本の政策は①のアメ型で労働者の賃金が上がって内需が拡大し企業利潤も増え国全体が豊かになったが、現在のグローバル化の政策は②のムチ型で労働者の賃金は抑制され海外投資などで企業利潤は拡大するが、投資家の声が強くなり貧富の差が拡大している。

7月8日発売

中野剛志さんのサイン入り 著書プレゼント

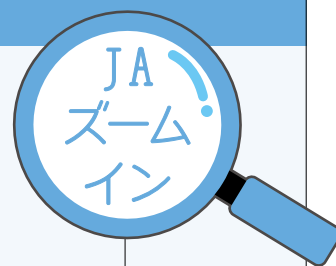
中野剛志さんの最新著書『奇跡の経済教室【戦略編】』(ベストセラーズ)を抽選で10名様にプレゼントします。



応募方法 郵便はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、「JA全農ウィークリー」の感想をご記入の上、ご応募ください。

応募先 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農広報・調査部
JA全農ウィークリー「中野剛志さんの本プレゼント」係

締め切り 令和元年7月19日(金)当日消印有効
※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。



農機レンタル事業を展開

組合員の要望受け機種拡大

JA信州諏訪は直売所出

荷者や兼業農家といった多様な担い手への支援、そして施設園芸などに新規で取り組む農家の農機購入にかかる費用の負担軽減を目的に「農機レンタル事業」を

行っています。

**順次機種を追加
組合員の要望に対応**

同事業は農業所得増大に向けた自己改革のひとつとして、2016年7月にス



トラクターをレンタルし、週末農業で稲作に取り組む組合員

タート。当初は耕運機・管理機、刈り払い機だけを扱っていましたが、組合員の要望を聴きながら順次機種を増やしてきました。

現在はトラクター6台、耕運機・管理機12台、刈り払い機6台、わら切りカタター2台、ハンマーナイフモア2台、ウッドチップパー台を営農センターや農機セ



湿田の多い諏訪市内の農機センターには、後部に三角形の「クロイラ」を装着した機種を配置

ンターから貸し出しています。

機種の設定は地域の実態を考慮。市街地のセンターにある耕運機は家庭菜園での利用を想定し、乗用車に積める小型タイプを用意。また、諏訪市の湖南農機センターのトラクターは、湿田の多い地域性を考慮し、

JA信州諏訪（長野県）



ぬかるんだ水田でも高い駆動力を発揮する「クロイラ」タイプとしています。

**JA共済の助成金活用
格安でのレンタル実現**

農機の導入はJA共済の「地域・農業活性化促進助成金」を活用。レンタル料はトラクターを1日使っても1万円（税込み）と低価格。刈り払い機は貸し出すたびに新しい刃に付け替えますが、料金は1日1000円（同）としています。金融・共済・営農などの各部門が連携し、補完し合って事業運営を行う「JAだからこそ」実現できた料金設定です。

2018年4月に富士見町で新規就農した野菜農家

の小林実さん（42）は、ブロッコリー畑の耕起に、年10回ほどトラクターをレンタルしています。

「将来は農機を自分で購入したい」と抱負を語る小林さんですが、「数百万円のトラクターを購入することを考えれば、経済的な負担が少なくありがたい。資金計画が定まり、経営が安定するまでレンタル事業を活用したい」と同事業に期待を寄せています。



刈り払い機の刃は貸し出すたびに新品に交換するため切れ味抜群

概要 平成31年2月28日現在	
正組合員数	9626人
准組合員数	1万2978人
職員数	609人
販売品取扱高	92億1千万円
購買品取扱高	78億6千万円
貯金残高	2660億2千万円
長期共済保有高	6872億9千万円
主な農畜産物	セルリー、ブロッコリー、パセリ、キャベツ、カーネーション、トルコギキョウ、菊、スターチスなど

[青 果 情 勢]

(園芸部)



野 菜

東北・北海道や高冷地が出荷の中心

概況

7月は、東北・北海道や高冷地からの出荷が本格化してきます。キャベツは、群馬・長野・岩手などの高冷地中心の出荷となります。

群馬・長野は、昨年高温・干ばつの影響から少ない出荷量でしたが、今年は各産地好天に恵まれ、前年を上回る出荷量見込みです。

ハクサイは、長野などが中心の出荷となります。適度な降雨と気温の上昇から生育順調で、小玉傾向であった前年を上回る出荷見込みです。

レタスは長野・群馬など高冷地が中心の出荷となります。両県とも6月下旬から出荷最盛期を迎えており、好天から生育良好となっております。出荷量は前年を上回る見込みです。

ダイコンは、北海道・青森などが中心の出荷となります。6月上旬までの干ばつから生育遅れがみられましたが、6月中旬以降の降雨から生育回復しています。出荷量は前年並みを見込んでいます。

ニンジン、千葉などが切り上がりを迎え、青森と北海道に切り替わります。青森・北海道は、6月中旬の降雨から生育回復しており、高温・干ばつで少なかった前年を上回る見込みです。

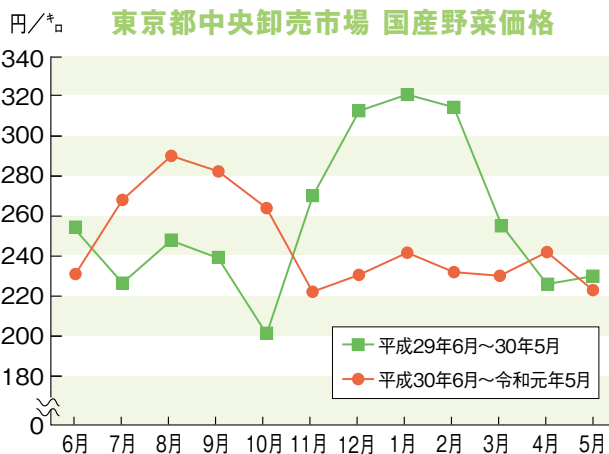
トマトは、北海道・東北産地が中心の出荷となります。6月は干ばつ気味でしたが、日照が良いことから樹勢も良く、前年並みの出荷量を見込みます。

キュウリは、東北産地が中心の出荷となります。促成物は終盤を迎え、露地作が本格的に出回ります。出荷量は、少なかった前年を上回る見込みです。

ナスは、関東産が中心の出荷となります。昨年は干ばつから少ない出回りであり、前年を上回る出荷量を見込みます。

店頭

気温、湿度ともに高い時期となり、清涼感のある香味野菜やエダマメ、トウモロコシなど季節感のある野菜が大きく展開されるようになり、夏野菜の本格的なシーズンを迎えます。



主産県 だより

6月は、トマト・ミニトマト、レタス、イチゴ、夏秋ピーマン、梨の主産県が一堂に会し、作況見通しや販売対策の共有化、消費拡大の進め方について協議しました。今後も主産県による情報交換会等を定期的で開催し、出荷情報や販売情報の共有を図ります。



果 実

夏の果実が本格化

概況

7月は、スイカ、メロンに加え、桃、ブドウ、梨などの夏果実の出荷が本格化するシーズンとなります。

スイカは、長野・山形などが中心の出荷となります。各産地とも生育は前年よりやや遅いペースとなっています。出荷量はおおむね前年並みを見込みます。

メロンは、千葉・北海道・山形などが中心の出荷となります。生育は順調で、味の仕上がりは良好となっています。出荷量は、おおむね前年並みとなる見込みです。

桃は、山梨・福島などが中心の出荷となります。前年は干ばつにより小玉傾向となりましたが、今年の肥大は順調に進んでいます。生育は早かった前年より遅く、7月の出荷量は前年を下回る見込みです。

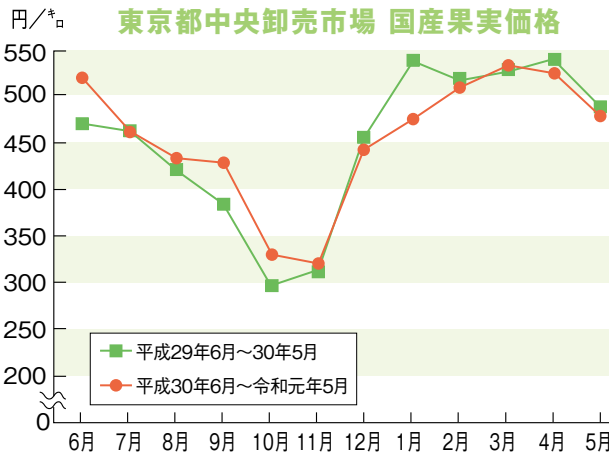
ブドウは、「デラウェア」が山形・山梨などが中心の出荷となります。中旬まではハウス物、以降は露地物中心となります。「ピオーネ」、「巨峰」などの大粒品種については、ハウス物が7月上旬から増量し、露地物も下旬から出荷開始となる見込みです。出荷量は前年をやや下回る見込みです。

梨は、福岡・佐賀などが中心の出荷となります。ハウスの「幸水」は平年並みの生育となっていますが、露地の「幸水」の生育は開花後の低温から遅れ気味となっており、出荷開始も前年より遅れる見込みです。7月の出荷量は前年をやや下回る見込みです。

ハウスみかんは、佐賀・愛知が中心の出荷となります。生育は順調で内容も安定しています。出荷量は、おおむね前年並みとなる見込みです。

店頭

国産果実の品目数量が増えてくる時期ということもあり、売り場も華やかになってきます。週替わりで、さまざまな品目の催事・セールスが行われます。



「体についての脂肪を減らす」緑茶を発売

エコープマーク品初の機能性表示食品

くらし支援事業部は4月から、エコープマーク品初の機能性表示食品「エコープ緑茶 plus」の販売を始めました。

【くらし支援事業部】

「エコープ緑茶 plus」は、体脂肪を減らす機能が報告されている「ローズヒップ由来ティロロサイド」を配合した緑茶飲料です。ローズヒップは、バラ科植物の果実で、その種子に含まれるポリフェノールの一つがティロロサイドです。

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスをとっていただき、1日1本500mlを目安にお召し上がりください。

全国の共同購入企画や直売所、エコープ店舗で取り扱っていきます。全農

希望小売価格は135円(税抜き)です。

皆さま、ぜひご利用ください。

届出表示

【届出番号D131】

- 本品にはローズヒップ由来ティロロサイドが含まれます。ローズヒップ由来ティロロサイドには、体脂肪を減らす機能があることが報告されています。
- 本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- 本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- 本品は、疾病に罹患している者、未成年者、妊産婦(妊娠を計画している者を含む。)及び授乳婦を対象に開発された食品ではありません。
- 疾病に罹患している場合は医師に、医薬品を服用している場合は医師、薬剤師に相談してください。
- 体調に異変を感じた際は、速やかに摂取を中止し、医師に相談してください。



食と農のWEBマガジン

Apron
エプロン

Web限定の「レシピ検索」「菜園づくり」etc.
ぜひご覧ください!

Webマガジンは
こちらから

Apron Web

検索

<https://apron-web.jp/>



JAタウン
ショップ紹介

JAタウン |

検索

クリック

フルーツ王国やまなし (JA全農やまなし)



JAタウンは
こちらから



「やまなしの桃のもも」
約1.8* 5〜6玉……4200円

“生産量日本一”を誇る「山梨」を代表する果物、それが「もも」、「ぶどう」。本州の中央に位置し、南アルプス・富士山麓など四方を高い山々に囲まれ、そこから湧き出る水、肥よくな土壌、そして盆地特有の年間を通じた長い日照時間と少ない降水量、夏の猛暑と昼夜の気温差などの気候が、おいしい果物を育みます。

まさに旬の「もも」は80品種以上出荷がありますが、「やまなしの旬のもも」は、注文いただいた時に旬の品種を発送しています。これから旬を迎える「ぶどう」は100種以上出荷があり、この中から「巨峰」「シャインマスカット」を販売します。

この機会にぜひ、旬の味をご賞味ください。

さあ、山梨を食べよう!

JA全農のインターネット
ショッピングモール

▶ご注文は <http://www.ja-town.com>

▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。